

令和6年度 城山地区福祉活動計画

重 点 課 題

安全は城山地区住民の意識から（安全委員会）

事業名

子どもの見守りと、住民の防災意識の向上

地域の課題（背景）

- ・通学路の安全面で心配なことが多くみられる。
- ・交通安全や不審者対策などで、ボランティアが不足している。
- ・災害時の安否確認のため、自治会ごとで名簿の準備が必要である。
- ・多様な災害に対する防災避難知識の講習会の開催が必要である。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

- ①登下校時の見守りパトロールをする。
（老人クラブ、PTAと共に）
- ②子ども110番の家の見直しと、協力依頼をする。
（区長、自治会長、PTAと共に）
- ③災害時の安否確認のため、自治会防災調査票（9区・16自治会）の調査・保管の確認をお願いする。（区長、自治会長、民生委員児童委員、福祉推進委員と共に）
ア．災害時の安否確認調査票 イ．災害被害調査 ウ．被害状況報告書
- ④災害に対する防災避難知識の講習会を開催する。
 - ・城山小学校体育館避難所開設訓練

自助(自分でできること)

- ・登下校時の見守りパトロールに協力する。
- ・子ども110番の家の場所を再度確認をする。

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・子ども110番の家への更新手続きを依頼する。（申請・認定・看板）

令和6年度 城山地区福祉活動計画

重 点 課 題

高齢者への多様な支援が必要である
(福祉委員会)

事業名

高齢者支援サポート事業の推進

地域の課題（背景）

- ・ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が増えてきている。
- ・高齢者の方で日常生活の困りごとが増えてきている。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

- ①ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯への声かけや見守りをする。
(区長、自治会長、民生委員児童委員、福祉推進委員と共に)
- ②ひとり暮らし高齢者のつどいを実施する。
(区長、自治会長、民生委員児童委員、福祉推進委員、日赤奉仕団)
- ③高齢者の城山生活サポート事業を推進する。
(区長、自治会長、民生委員児童委員、福祉推進委員、城山生活サポーターと共に)
- ④いきいきサロンの設立を進める。
(区長、自治会長、民生委員児童委員、福祉推進委員と共に)

自助(自分でできること)

- ・近所の高齢者に対し、見守りや声かけをする。
- ・近所の高齢者に小さな手助けをする。

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・認知症対策支援

令和6年度 城山地区福祉活動計画

重 点 課 題

住民の健康づくり、地域交流の場づくりが必要である
(体育委員会)

事業名

住民の健康づくりと、スポーツレクリエーション大会の運営

地域の課題（背景）

- ・住民の健康づくりの機会が少ない。
- ・子どもと共に楽しめる行事がない。
- ・城山地区住民運動会がなくて、さびしい。
- ・昨今、人と人の繋がりが疎遠である。（人と人の接点づくり）

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

- ①子どもと共に楽しめる行事としてスポーツレクリエーション大会を実施する。
（スポーツクラブ、体育推進員、各種体育指導者と共に）
- ②三世代交流の「三世代なかよし玉入れ」を小学校運動会で実施する。
（区長、自治会長、PTA、小学校と共に）
- ③城山地区夏まつりの開催に合わせ、スポレクイベントで参加する。

自助(自分でできること)

- ・健康づくりの活動に進んで参加する。

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・レクリエーション用具の借用

令和6年度 城山地区福祉活動計画

重 点 課 題

青少年の健全育成が大切である
(青少年委員会)

事業名

青少年の健全育成

地域の課題（背景）

- ・地域の活動に子どもの積極的な参加を呼びかける。
- ・学校などと連携を図り、小中学生の健全育成を図る。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

- ・中学生ボランティアを募集し、共に活動する。（夏祭り、スポレク）
- ・独自の活動を行う。（わくわくチャレンジ親子史跡巡り）
- ・小・中学校との連携を深め、活動を支援する。
- ・様々な教育情報を収集し、今後の活動のあり方を検討する。

自助(自分でできること)

- ・多様な活動を通して子どもたちの参加を呼び掛け、子どもたちの健全育成を支援する。
- ・地域の子どもの積極的に声をかける。（あったか言葉、挨拶など）

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・行政、学校、こども園などと連携を図る。

令和6年度 城山地区福祉活動計画

重 点 課 題	城山住民の地域交流の場が少ない (地域振興委員会)
事業名	
地域交流活動の推進	
地域の課題（背景）	
・城山地区全体での地域交流活動が活発になってきているが、更に充実したものにしていき たい。 ・区や自治会ごとの行事や三世代交流の場がさらに増えるとよい。 ・城山地区夏まつりを実施するにあたって協力者をもっと増やしたい。	
推進方法（地域でできることをより具体的に記入）	
①城山の夏まつりを開催する。（区長、自治会長、各種団体長と共に） ②城山の夏まつりへの協力を呼びかける。 ③各種地域行事やまつり等の成功に向けて研修をする。 （区長、自治会長と共に）	
自助(自分でできること)	
・地域の交流活動に進んで参加する。	
公助（行政や社協に依頼すること）	